



夜間の駅通りの様子。43基の街路灯が、通りを明るく照らしています。

明るい駅通りで安全に 駅通りに43基の街路灯が完成

古くからの中心商店街通りとして市民に親しまれている『駅通り』に、このたび43基の街路灯が設置されました。

昨年、アーケードが撤去されて以降、夜間は照明が無く暗い状態が続いていました。このため、夜間の来店者や歩行者が安心して歩ける通りにしようと、通りの商店主などで結成される「枕崎市駅通り会」が、市の補助を受け設置したものです。

完成に合わせ、市内の子どもたちなどが作成した七夕飾りが街路灯ごとに設置され、通りに華やかさを添えています。

7月27日には、街路灯完成イベントが、駅通りに面するタイヨー枕崎店の駐車場で開催されました。火の神太鼓をはじめ、地元のバンドによるコンサートのほか花火も打ち上げられ、訪れた人たちを楽しませていました。

明るくなった駅通り。皆さんもゆっくりと散策してみてくださいはいかがでしょうか。



七夕飾りが賑やかに



完成イベントの様子。枕崎少年少女合唱団も出演。



環境問題を、花渡川から世界へ問いかける—— 『花渡川アートプロジェクト2006』 が世界環境デー展覧会に出展

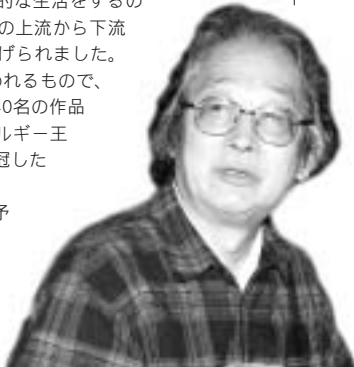
昨年9月、花渡川を舞台にして行われたアートパフォーマンス『花渡川アートプロジェクト2006』が、世界環境デーの展覧会に採用されました。

この『花渡川アートプロジェクト2006』は、今、最も重要な環境課題の一つである『水』について問いかけることをテーマに、アーティストの池田一さんを中心に行われたもの。文明的な生活をするのに必要な水の量80%の水の箱を背負い、花渡川の上流から下流まで練り歩いたアートパフォーマンスが練り広げられました。

世界環境デー展覧会は、地球規模の自然環境の変化をテーマにして行われるもので、今年6月5日から8月20日まで、この作品を含む世界的なアーティスト40名の作品が、ノルウェーのノーベル平和センターで展示されています。また、ベルギー王立美術館、米国・シカゴでの巡回展も決定しており、『花渡川』の名を冠したアートが世界で展示されています。

■今年も『花渡川アートプロジェクト』が、9月28～30日に実施される予定です。興味のある方は『NPO法人エコ・リンク・アソシエーション』(TEL 5 3-7 2 7 0) までお問い合わせください。

池田一：水を媒介として環境問題を強く意識したプロジェクトを世界各地で実施する世界的な『水』のアーティスト。



左：水揚げ場の見学 右：冷蔵庫は汗も凍る寒さ

教科書には載っていない イキのいい体験授業！

市内小学校5年生が漁港で実習授業

枕崎市漁協による、市内小学校5年生を対象とした社会科の実習授業が今年も行われました。これは、3年前から小学5年生の社会科の教科書に、枕崎のカツオ一本釣り漁業が詳しく紹介されていることから、枕崎の基幹産業であるカツオ一本釣り漁業のことをもっと深く知ってもらうと、行われているものです。実習授業は、3日間に分けて行われました。ビデオを交えてカツオ一本釣りの漁業の説明を受けた後、水揚げ場や製氷工場、冷蔵庫を見学。冷蔵庫では普段感じることのでき

ないマイナス50度の世界を体験し、「寒い寒い」と体を震わせながらも笑顔で見学していました。施設見学が終わると、お待たせかねの昼食。『枕崎ぶえん鯉』の刺し身が出され、どの学校の児童たちもおいしそうに残さず食べていました。「学校からの要請があれば、いつでも実習授業に駆けつけている。食育の観点から、PTAの方たちを対象とした『魚のさばき方』教室なども行っていきたい」と語っていました。

■児童の感想文から(抜粋)

港の仕事はもっと簡単だと思っていました。今日の見学で新鮮なタタキやその他のカツオ料理は、全て港の人のおかげと初めて知りました。日ごろなんとなく食べているいろいろな料理もかつお節があつて、無くなつてしまつて味がおかしくなつてしまつます。ほくほくに、カツオがないといけません。そのカツオを港の人が一生懸命保存したりしてくれて、もっと感謝しないとイケないと思います。(枕崎小学校5年生)



▲長蛇の列ができた『かつお丼』のコーナー

ゲンキダット・マグラザツ 『関西かごしまファンデー』大盛況

投稿者：近畿枕崎会会長 豊田久男

投稿ありがとうございました

投稿

7月22日、第4回関西かごしまファンデーが、京セラドーム大阪で3万2千人の鹿児島出身者が集い華々しく開催致しました。ステージでは俳優の西郷輝彦さんをメインゲストに、鹿児島県出身で関西在住の歌手たちが花を添えました。物産での枕崎関係では前年継続し、薩摩酒造株式会社、マダム・ポー、マルミツ水産、昨年話題を独占した『かつおラーメン』のはまらん会の4団体と、今回初めて枕崎市漁業協同組合、枕崎水産加工業協同組合、厚石園の3団体が参加し、近畿枕崎会では、枕崎名物、つけあげ、かまぼこを独自に仕入れて販売しま

した。出店の各社共々完売が続出し、みなさん大変喜んでいただき、来年も必ず出店することを約束して帰路につきました。一日だけの開催で採算面では考えるところもありましたが、瀬戸口嘉昭市長自ら、枕崎市のトップセールスとして活躍され、会場一杯だけでなく鹿児島県の他の市町村にも元気な枕崎をアピールすることができました。近畿枕崎会役員たちは手分けして各社のお手伝いをして、会員の方々に喜んでいただけたことに満足しております。数年はドームでの開催が決まっておりますので、元気な企業、団体のご参加をお待ちいたしております。